

2020年7月3日 担当者：小松



生コンクリートの主原
料である骨材(碎石や砂)
の値上げが広がってい
る。運転手不足などに伴
う輸送コストの上昇を理
由に、1割程度引き上げ
る動きが関東地域の骨材
メーカーで相次ぐ。骨材
を入れる生コンメーカー
は過去の原材料高を転
嫁する生コン値上げに取
り組んでいる最中。新た
なコスト上昇圧力を受
け、苦境が深まりそうだ。

「9月から砂の1割値
上げをお願いしたい」。
千葉県の骨材メーカーは
東京の生コン会社や商社
に値上げを要請してい
る。値上げ幅は東京湾岸
地域までの輸送費込みで
1トントン300円だ。
同社の値上げは201
9年秋以来。ここ2年で

骨材値上げ、需要は一巡

200円程度引き上げた
が輸送コストの上昇が止
まらず、今秋からの追加
値上げを決めた。埼玉県の骨材メーカー
は4月からの碎石値上げ
に動いた。運賃高を理由
に1トントン500~600円
の値上げを要求。これま
でに200~300円違うと、骨材の調達価格は

現在1トントン3000円程
度。最近2年ほどで10%
強上がった。生コンの原
材料に占める割合は体積
ベースで7割、コストベ
ースで5割強を占める。

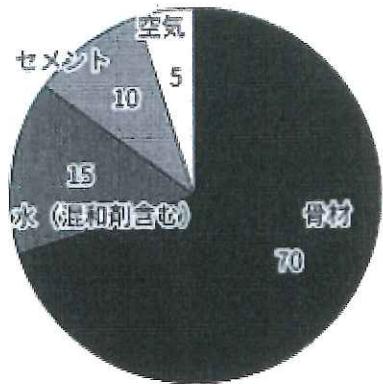
骨材の値上がりは生コン
各社の収益を圧迫する。
生コン各社が値上げを
完全に担むのは難しい。
骨材メーカーは中小企業

が多い、調達先を切り替
えても提示される条件は
ほぼ同じ。値上げ姿勢は
東の生コン需要は振るわ
ず、生コン各社の経営環
境は厳しい」と話す。同
連合会が30日発表した6
月の全国の生コンクリー
ト出荷量は前年同月比2
・8%減の661万7千
立方㍍。9カ月連続の前
年割れとなつた。

バラリソビック関連の需
要が一巡。都心部を中心
とした大型再開発工事も
五輪後に次の計画が動き
出すまでの端境期で、需
要是振るわない。骨材の
ほかセメントなどの材料
費も上昇している。

東京都西部を営業エリ
アにする東京地区生コン
クリート協同組合(東京
・中央)に加盟する生コ
ン各社は「ほぼ全社最終
赤字に陥っている」(斎
間がかりそうだ。
(井上達也)

骨材は生コンの7割を占める



(注)生コン会社への聞き取りから構成
体積の割合 (%)

2年で10%高 収益回復に時間



骨材高が生コン各社の
収益を圧迫している
(東京の生コン工場)



ウメモト インフォメーション



2020

年 7 月 31 日

担当者: 岩崎

シェル、赤字1.9兆円

4~6月最終 資源安で巨額減損

【ロッテンドリーム船運太】も40億㌦の減損を出した。売上高は前年同期比64%を下回る計画を立てた。

英蘭ロイヤル・ダッチ・シェルが30日発表した2020年4~6月期連結決算は、最終損益が1.8兆㌦(約1兆9千億円)の赤字に沈んだ。資源価格の低迷を受けた減損損失が響いた。ムトタルも、カナダ事業で減損がかさみ、83億㌦の最終赤字になった。

シェルの最終赤字は四半期として過去最大だ。北米事業の撤退による費用が生じた15年7~9月期(74億㌦の赤字)を大きく上回る損失を記録した。前年同期は29億㌦の黒字だった。

減損の規程は税引き後で168億㌦以上った。

統合ガス部門でオーストラリアの液化天然ガス(LNG)事業を中心とする構造改革など、採掘や掘削などに歳差する方向だ。上流部門の生産量(石油換算ベース)は日本で210万桶/日と見込めた。資源価格の上昇部門の生産量(石油換算ベース)は日本で210万桶/日と見込めた。

6月期の日量241万桶を下回る計画を立てた。一方、トタルが同日量243万桶と6割下がった。資源やアナリストが注目する在庫評価や一過性利益は6億3千800万㌦。前年同期から82%落ち込んだが、川下部門の精製マシン改善などを赤字を回避した。

EON(オンラインのエネルギー会員)はオンラインのエネルギー会員で、エネルギー需要は4~6月期が底だつた」と語った。ただ、「回復には長い時間がかかる」とある。航空向

年同期は27億㌦の黒字(前年同期は83億㌦の赤字)

だ。原油安に加え、変動対応の強化が求められるなかで想定ほど長引く動きが見込めないと判断も始めたという。

2020

年 7月3/日

担当者: 植野

ジップロック傘へ再生

旭化成ホームプロダクツなどシェアサービス実施

旭化成ホームプロダクツは、テラサイクルジャパン、Nature Innovation Group（アイカサ）、ビルマースと協働でリサイクルプロジェクトを開始する。旭化成ホームプロダクツが販売する「ジップロック」を傘へリサイクルし、シェアリングサービスを実施。旭化成パフ

「来年25周年を迎えるジップロックブランドだが、お客様と一緒に楽しんでいたいながら『持続可能な社会』『循環型社会』を考えるきっかけにしてほしい」と意義を語る。プロジェクト名は「Ziploc RECYC

LE PROGRAM」。袋線の池袋駅、飯能駅を中心約1000本を設置予定。回収とりサイクルはテラサイクルが担う。ジップロックの原料であるポリエチレン(PE)をペレット化し、傘用フィルムへの成形工程までを手がける。傘のデザインはこれまでにもジップロックのコラボアイテム製

造したチームが担当。傘シェアはアイカサが行い、登録ユーザー数10万人以上の有料サービスと連動させる。

ziplo)で力

ウント登録が必要。回収量に応じ、同社独自のポイントが付与されるインセンティブも設けられている。

e.com/ja-JP/brigades/



9月中旬から西武鉄道池袋線内で約1000本を設置予定